

令和3年度第3回島田市立図書館協議会 次第

日 時：令和3年12月3日（金）午後7時～

会 場：会議棟 C会議室

1 開 会

2 あいさつ（協議会会長、図書館課長）

3 会 議

議題1 令和3年度島田市立図書館利用状況について

議題2 令和3年度島田市立図書館事業中間報告について

議題3 ひと・ほんの庭にこっと、ながふじ図書館（磐田市）視察報告について

4 その他

5 閉 会

令和3年度 島田市立図書館利用状況（4月～9月）

①令和3年度利用者数及び貸出点数

※利用者数は延べ人数

区分	利用者数（4月～9月）						貸出点数（4月～9月）					
	令和3年度	令和2年度	前年比較		目標	達成率	令和3年度	令和2年度	前年比較		目標	達成率
			増減	前年比					増減	前年比		
島田図書館	57,287	47,338	9,949	121.02%	114,000	50.25%	183,111	154,090	29,021	118.83%	364,500	50.24%
金谷図書館	18,215	15,826	2,389	115.10%	38,300	47.56%	63,615	56,557	7,058	112.48%	133,700	47.58%
川根図書館	5,189	4,703	486	110.33%	11,100	46.75%	14,123	13,064	1,059	108.11%	29,800	47.39%
初倉公民館	1,097	821	276	133.62%	1,900	57.74%	4,307	3,175	1,132	135.65%	7,300	59.00%
六合公民館	1,913	1,396	517	137.03%	3,500	54.66%	7,596	5,566	2,030	136.47%	14,700	51.67%
北部ふれあいセンター	312	227	85	137.44%	430	72.56%	1,644	1,244	400	132.15%	2,100	78.29%
初倉西部ふれあいセンター	108	99	9	109.09%	350	30.86%	326	290	36	112.41%	900	36.22%
大津農村環境改善センター	204	179	25	113.97%	420	48.57%	1,015	772	243	131.48%	2,000	50.75%
計	84,325	70,589	13,736	119.46%	170,000	49.60%	275,737	234,758	40,979	117.46%	555,000	49.68%

②令和3年度年代別利用者数

区分	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学一般	一般								計
	0～1歳	2～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		
令和3年度	241	4,817	13,364	1,906	795	855	1,401	7,409	12,064	10,661	14,328	13,098	3,278	84,217	
令和2年度	176	3,218	9,779	1,340	768	849	1,401	6,067	11,462	9,383	12,576	10,827	2,644	70,490	
増減	65	1,599	3,585	566	27	6	0	1,342	602	1,278	1,752	2,271	634	13,727	
比較	136.93%	149.69%	136.66%	142.24%	103.52%	100.71%	100.00%	122.12%	105.25%	113.62%	113.93%	120.98%	123.98%	119.47%	

※初倉西部ふれあいセンターの利用者数は含まない。

③令和3年度年代別貸出点数

区分	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学一般	一般								計
	0～1歳	2～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		
令和3年度	1,233	26,388	53,725	6,359	2,285	2,421	4,725	24,796	36,803	26,944	39,906	40,112	9,714	275,411	
令和2年度	1,010	18,824	41,028	4,728	2,046	2,707	4,780	21,377	35,224	24,741	36,445	33,808	7,750	234,468	
増減	223	7,564	12,697	1,631	239	△286	△55	3,419	1,579	2,203	3,461	6,304	1,964	40,943	
比較	122.08%	140.18%	130.95%	134.50%	111.68%	89.43%	98.85%	115.99%	104.48%	108.90%	109.50%	118.65%	125.34%	117.46%	

※初倉西部ふれあいセンターの貸出点数は含まない。

令和3年度島田市立図書館事業中間報告

1 読書週間関連事業

(1) こどもの読書週間 4月23日(木)～5月12日(火)

標語：「いっしょによもう いっぱいよもう」

◇島田図書館

①こどもの読書週間企画展

・「本・ホン・ほん！」

期 間：4月23日(金)～5月30日(日)

場 所：3階児童書特集コーナー

内 容：本や図書館に関する本を特集展示

②「たからばこのひみつをさがせ！」【新規事業】

期 間：4月25日(日)～5月30日(日)

場 所：3階児童フロア

内 容：島田図書館児童フロアに設置された5つの宝箱に隠された文字を組み合わせ、答えを見つけるイベント。普段足を運ばない書架を巡ることで本に対する新たな興味を引き出すことを目的とする。

◇金谷図書館

① こどもの読書週間企画展

・「ハイキングに行こう！アウトドアの本」

期 間：4月23日(金)～5月30日(日)

場 所：児童書特集コーナー

内 容：ハイキング・アウトドアに関する児童書の特集展示

② クローバーカード

期 間：4月23日(金)～5月16日(日)

対 象：小学生以下

内 容：金谷図書館に隠されたクローバーを探すイベント。普段足を運ばない書架を巡ることで本に対する新たな興味を引き出すことを目的とする。

◇川根図書館

①こどもの読書週間企画展

・「もっと知りたい世界のこと！世界とであう本」

期 間：4月23日(木)～5月30日(日)

場 所：川根図書館

内 容：世界をテーマにした本の特集展示

2 児童サービス

(1) 紙芝居と絵本の読み聞かせ

※緊急事態宣言発令に伴い、8月21日～9月30日までおはなし会は休止しました。

《島田図書館》

(9月末現在)

曜日	グループ名	実施回数	参加人数
第1土曜日	島田おはなしの会	3回	26人
第2日曜日	大津お話の会	5回	43人
第1日曜日・第5土曜日	図書館職員	7回	77人
第2・4土曜日	山びこ親子読書会	9回	108人
第3土曜日	あすなろ	3回	46人
第4土曜日	英語であそぼドクター K I D S	3回	52人
合 計		30回	352人

《金谷図書館》

(9月末現在)

曜日	グループ名	実施回数	参加人数
第1日曜日	オオサキさん	3回	17人
第2土曜日	さくらんぼ	4回	45人
第4土曜日	図書館職員	4回	45人
合 計		11回	107人

《川根図書館》

(9月末現在)

曜日	グループ名	実施回数	参加人数
第3水曜日	たまごマザー	3回	24人
第4土曜日	図書館職員	4回	21人
合 計		7回	45人

(2) ブックスタート事業

(9月末現在)

実施月	4月		5月		6月		7月		8月	
実施日	6日	13日	11日	18日	1日	8日	6日	13日	3日	17日
参加者	18人	33人	25人	27人	21人	14人	24人	24人	26人	25人

実施月	9月		4月～9月計
実施日	7日	14日	12回実施
参加者	25人	20人	282人

(3) おはなしギフト

《島田図書館》

(9月末現在)

施設名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
大柳きしゃぼっぱ(大柳公民館)	4月19日(月)	1回	20人	しろやま読み聞かせクラブ
子育てふうせん(ゆたか保育園)	4月23日(金)	1回	6人	
旭町きしゃぼっぱ(旭町公民館)	※11月に延期 5月7日(金)	0回	0人	
ぐう・ちよき・ぱあ(島田第一中学校)	6月3日(木)	1回	41人	ペアレントサポーター
すまいるハウスたまご(歩歩路)	9月8日(水)	1回	12人	県子ども読書アドバイザー
計		4回	79人	

《金谷図書館》

(9月末現在)

施設名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
子育て支援センターひよこ(五和保育園)	5月28日(金)	1回	17人	
子育て支援センターひよこ(五和保育園)	中止 9月30日(木)	0回	0人	
計		1回	17人	

(4) おはなし宅配便

《島田図書館》

(9月末現在)

園名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
島田北幼稚園	中止 5月13日(木)	0回	0人	
島田南幼稚園	中止 5月18日(火)	0回	0人	

みどり認定こども園	5月19日(水)	1回	55人	島田おはなしの会
認定こども園 島田学園付属幼稚園	5月21日(金)	2回	79人	
認定こども園エルフのみらい	6月8日(火)	3回	90人	
島田市立第三保育園	6月15日(火)	2回	60人	まめっちょ
こばと保育園	6月17日(木)	1回	35人	
たけのこ保育園	6月22日(火)	1回	27人	おはなしアラカルト
伊久身幼稚園	6月24日(木)	1回	14人	
大津保育園	中止 8月18日(水)	0回	0人	
島田市立第一保育園	中止 8月19日(木)	0回	0人	
こども発達支援センターふわり	中止 9月24日(金)	0回	0人	
計		11回	360人	

《金谷図書館》

(9月末現在)

園名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
認定こども園 五和保育園(年長児)	4月21日(水)	2回	60人	
認定こども園 五和保育園(年中児)	5月19日(水)	2回	58人	
認定こども園五和幼稚園	6月16日(水)	3回	94人	3回の内1回 島田おはなしの会
計		7回	212人	

(5) 学校朝読書会への職員派遣(川根図書館)

川根小学校朝読書会 (9月末現在)

実施日	6月17日	6月24日	計
参加者	33人	33人	66人

川根中学校朝読書会 (9月末現在)

実施日	5月19日	計
参加者	27人	27人

3 夏休みイベント

(1) 夏休み一日体験図書館員

《島田図書館》

実施日：7月29日（木）、30日（金）、8月3日（火）、4日（水） 計4回

参加者：各日2人 計8人

《金谷図書館》

実施日：8月4日（水）、6日（金） 計2回

参加者：各日2人 計4人

《川根図書館》

実施日：7月30日（金） 1回

参加者：2人

(2) 子ども映画会

《金谷図書館》

・みんくる納涼夏まつり映画会

夏まつり中止のため、映画会も中止

・夏休み映画会

実施日	上映作品	参加者
8月5日（木）	おしりたんてい10 2作品 忍たま乱太郎の宇宙大冒険 1作品	9人
8月26日（木）	中止	0人
計		9人

(3) 「ほんのむし」カード

《3館共通》 ※R3より島田図書館でも追加実施

実施期間：7月1日（木）～8月31日（火）

対象：幼児から小学生まで

内容：1日1回本を借りるごとにスタンプを押し、10個以上貯めた子供に景品や認定証を渡し称揚した。（10個で景品、20個で認定証と景品）

実績：参加者 1,150人（島田688人、金谷388人、川根74人）

景品配付者 145人（島田49人、金谷82人、川根14人）

認定証授与者 33人（島田5人、金谷22人、川根6人）

4 講座の開催

9月までにママフィットネス講座、金谷公民館歴史講座を実施予定でしたが、10月以降に延期しました。

5 体験学習・施設見学等の受入れ

(1) 勤労体験学習の受入れ

島田図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
8月5日(木)～6日(金)	金谷中学校	2年生	1人
計			1人

金谷図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
8月12日(木)～13日(金)	金谷中学校	2年生	2人
計			2人

(2) 施設見学の受け入れ

島田図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
5月13日(木)	伊久美小学校	1～6年生	39人
6月11日(金)	六合東小学校	2年生	71人
7月14日(水)	島田第三小学校	2年生	46人
9月19日(木)	島田第五小学校	2年生	54人
計			210人

金谷図書館

実施日	学校名	学年	参加人数
5月14日(金)	金谷小学校(特別支援学級)	1～6年生	15人

川根図書館(オリエンテーション)

実施日	学校名	学年	参加人数
4月21日(水)他	川根小学校	1～6年生	174人

6 障害者読書支援

◇静岡福祉大学附属図書館相互協力協定事業

- ・所蔵本の相互貸借 静岡福祉大学附属図書館へ貸出 2冊
静岡福祉大学附属図書館から借受 0冊

◇マルチメディアデイジー図書

公益財団法人伊藤忠記念財団からマルチメディアデイジー図書4枚を各図書館で受入れ、全館で40種類のマルチメディアデイジー図書と活用術の本を所蔵

7 学校図書館支援事業

◇学校図書館支援

《島田図書館》

1校

《金谷図書館》

0校

《川根図書館》

1校

◇出前講座【新規事業】

金谷高校「読み聞かせ会」

実施日：9月15日（水）

参加者：19名

◇団体貸出

（9月末現在）

館名	貸出学校数（延べ）	貸出冊数
島田図書館	9校	1,213冊
金谷図書館	9校	305冊
川根図書館	3校	604冊
計	21校	2,122冊

8 読書通帳事業

(1) 読書通帳の交付

読書通帳交付冊数（事業開始時から）

区分	新規	継続	再交付	計
平成 24 年度	1,240 冊	6 冊	3 冊	1,249 冊
平成 25 年度	681 冊	140 冊	13 冊	834 冊
平成 26 年度	423 冊	192 冊	15 冊	630 冊
平成 27 年度	674 冊	240 冊	17 冊	931 冊
平成 28 年度	567 冊	224 冊	14 冊	805 冊
平成 29 年度	861 冊	262 冊	26 冊	1,149 冊
平成 30 年度	679 冊	289 冊	13 冊	981 冊
令和元年度	535 冊	270 冊	18 冊	823 冊
令和 2 年度	338 冊	213 冊	16 冊	567 冊
令和 3 年度（9 月末現在）	237 冊	129 冊	15 冊	381 冊
累計	6,235 冊	1,965 冊	150 冊	8,350 冊

9 雑誌スポンサー制度

実績（事業開始時から）

年度	スポンサー数	雑誌タイトル数
平成 23 年度	12 事業者	26 誌
平成 24 年度	19 事業者	38 誌
平成 25 年度	32 事業者	53 誌
平成 26 年度	36 事業者	57 誌
平成 27 年度	36 事業者	62 誌
平成 28 年度	37 事業者	68 誌
平成 29 年度	41 事業者	72 誌
平成 30 年度	45 事業者	73 誌
令和元年度	49 事業者	78 誌
令和 2 年度	49 事業者	79 誌
令和 3 年度（9 月末現在）	48 事業者	78 誌

10 子ども読書活動推進計画

「島田市子ども読書活動推進計画」は、子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条に基づき、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」と「静岡県子ども読書活動推進計画」に沿って平成19年3月に策定した。計画期間は、平成19年度～平成23年度（5年間）。

平成24年3月に第二次計画を策定。計画期間は、平成24年度～平成28年度（5年間）。

平成29年3月に第三次計画を策定。計画期間は、平成29年度～令和3年度（5年間）。

令和4年3月に第四次計画を策定予定。計画期間は、令和4年度～令和8年度（5年間）。

〈策定の進捗状況及び今後のスケジュール〉

4月～5月	施策体系整理	・第三次計画の現状と課題を整理
6月～7月	第四次計画骨子案作成	・第四次計画の「基本的な考え方」と「施策」について協議
8月～11月	第四次計画素案作成	・教育委員会定例会協議事項
12月～2月	第四次計画最終案作成	・議会説明 ・パブリック・コメント実施
3月	第四次計画印刷製本	・パブリック・コメント結果報告 ・教育委員会定例会付議事項 ・議会報告

※現在、第四次計画の最終案をまとめている段階で、1月にパブリック・コメントを実施予定。

推進委員会（任期 令和3年6月1日～令和5年5月31日）

役職名	氏名	区分
会長	鈴木 善彦	学識経験者
副会長	松浦 美幸	県子ども読書アドバイザーほか
委員	河本 直未	島田市小中学校PTA代表者
委員	小塩 倫代	島田市内幼稚園代表
委員	曾根 初乃	島田市内保育園代表
委員	片川 智帆	市内小学校司書教諭代表
委員	西井戸 由加	市内中学校司書教諭代表
委員	小林 恵子	市内高等学校図書館代表
委員	土屋 初美	校長会代表
委員	村田 一史	学校教育課長
委員	小林 知子	社会教育課長
委員	森川 利久	子育て応援課長
委員	清水 基之	保育支援課長
委員	岩本 申久	図書館課長

・第1回子ども読書活動推進委員会 9月28日（火）開催

11 その他の事業

(1) 高齢者おはなし会（川根図書館）

実施日：毎月1回

場 所：ふれあい健康プラザ

内 容：来所者と会話しながら読み聞かせを実施する。

参加者：9月末現在 延38人

(2) 川根図書館ボランティア

実施日：8月11日（木）

場 所：川根図書館

内 容：書架整理、YA（ヤングアダルト）コーナーのリニューアルなど。

参加者：川根中学生16人

(3) 金谷図書館展示コーナー

期間：令和3年4月2日（金）～令和4年3月31日（水）

内容：金谷図書館入口展示コーナーにて、市内在住の個人または市内の団体が作製した作品を展示し、展示内容は図書館のホームページやフェイスブックで広報する。また、展示内容に関連した本や資料を図書館で特集する。

展示団体数：9団体（9月末現在）

(4) 本のテイクアウト

期間：令和3年4月29日（木）～7月18日（日）

内容：新型コロナウイルス感染予防の一環として、様々な年齢層の方に、短い滞在時間の中で、選書に時間を掛けることなく希望に沿った本を借りていただけるよう、ジャンルやテーマ別に集めた本をあらかじめ数冊まとめておき、セットごと貸出する。

貸出実績

（冊）

	児童書	一般書	計
島田図書館	277	563	840
金谷図書館	102	167	269
川根図書館	22	21	43
計	401	751	1,152

12 10月以降に実施する主な事業

(1) 読書週間 10月27日（水）～11月9日（火）

標語「最後の頁を閉じた 違う私があった」

《島田図書館》

◇企画展「外国文学」

期 間：10月27日（水）～11月9日（火）
場 所：3階 カウンター横ブックトラック
内 容：外国文学（児童書）を展示貸出

◇おはなしマラソン

実施日：11月6日（土）
場 所：おび・りあ4階 多目的室
内 容：読み聞かせグループによるおはなし会

《金谷図書館》

◇企画展「新たな推し 発見の予感 ～アンソロジー特集～」

期 間：10月3日（日）～11月23日（火祝）
場 所：一般特集コーナー
内 容：アンソロジーの本を集め、展示貸出

◇企画展「絵本の庭へ 物語の森へ」「ちょっと気になる本」

期 間：10月19日（火）～11月9日（火）
場 所：児童特集コーナー
内 容：長く読み継がれた絵本や物語の本を集め、展示貸出
ちょっと気になる不思議な本を集め、展示貸出

◇どんぐりカード

実施日：10月28日（木）～11月23日（火祝）
場 所：児童コーナー
内 容：児童書架に隠された、どんぐりのイラストを探す。全部集めると、カウンターでスタンプをもらえる。

◇おはなしマラソン

実施日：10月30日（土）
場 所：金谷公民館 2階 集会室
内 容：読み聞かせグループによるおはなし会

《川根図書館》

◇企画展「知っていますか？SDGs」

期 間：10月27日（水）～11月9日（火）
場 所：カウンター前 特設コーナー
内 容：「知っていますか？SDGs」をテーマに、コーナーの設置、読書週間ポスター掲示。

◇秋のスタンプラリー

期 間：10月1日（金）～10月31日（日）

内 容：川根小学校との共同事業。1日1回本を借りたらスタンプを押し、10個貯まったらプレゼントを贈呈する。

(2) むいぐるみの図書館おとまり会

実施日：11月20日（土）・21日（日）

場 所：島田図書館

内 容：子どもたちのお気に入りのぬいぐるみが図書館にお泊りし、図書館の中を探検したり、本を読んだりする様子を撮影して渡すことにより、図書館や本に関心を持ってもらうことを目的としたイベント。

参加者：3歳～小学校2年生までの子どもとその愛用のぬいぐるみ10組

(3) 除籍本・雑誌の無料配布

《川根図書館》

実施日：11月13日（土）・14日（日）

場 所：川根図書館

《金谷図書館》

実施日：11月28日（日）

場 所：金谷公民館2階 集会室

《島田図書館》

実施日：令和4年2月26日（土）

場 所：プラザおおるり 展示ホール

(4) 島田図書館文学講座

実施日：令和4年1月22日（土）

場 所：島田図書館

講 師：月の輪熊八（服部 正美）氏

内 容：古典落語の世界

定 員：20人

(5) 金谷図書館歴史講座

実施日：10月3日（土）

場 所：金谷図書館

定 員：30人

講 師：矢澤 和宏氏

内 容：「大井川に育まれた豊かな風土 ～金谷の歴史・民俗をふまえて～」

- (6) 川根図書館子ども向け講座
実施日：令和4年1月22日(土)
場 所：川根図書館
定 員：15人
講 師：村上 泰造氏、山中 史章氏
内 容：「楽しい！理科教室」
- (7) 川根図書館あかり展
実施日：12月4日(土)
場 所：川根図書館
内 容：夜の図書館に「あかりアート」を灯し、普段と違う雰囲気^の図書館とする。
- (8) ひみつカード
実施日：11月25日(木)～令和4年1月16日(日)
場 所：金谷図書館
対 象：小学生以下
内 容：本を借りたらひみつの絵の一部を渡し、10枚集めて絵を完成させる。
- (9) 図書館福袋
実施日：令和4年1月5日(水)(なくなり次第終了)
場 所：島田図書館
内 容：2冊で1袋、貸出は1人1袋まで。
大人向け、中高生向け、子ども向けを用意
配布数：58袋
- (10) 図書館おみくじ
実施日：令和4年1月5日(水)・6日(木)
場 所：島田図書館、金谷図書館、川根図書館、川根支所、川根文化センター、
地域館(5館)
枚 数：1,670枚
- (11) 新春子ども映画会
実施日：令和4年1月22日(土)
場 所：金谷公民館 2階 集会室
内 容：子ども向けアニメーションの上映
定 員：30人
- (12) ママフィットネス講座【新規事業】
実施日：令和4年2月21日(月)
場 所：島田図書館

講 師：櫻井 ゆかり 氏
内 容：子育て中の母親を対象としたフィットネス講座
定 員：15人

(13) 読み聞かせボランティア講座

実施日：令和4年2月6日（日）
場 所：金谷公民館 2階 集会室
定 員：20人
内 容：「読み聞かせをしてみましよう」をテーマにした初心者向け講座
講 師：静岡県子ども読書アドバイザー 小池 千鶴 氏

(14) 修理ボランティア講座

実施日：11月5日（金）、11月12日（金）、12月3日（金）
場 所：おび・りあ4階多目的室
定 員：15人
内 容：本の修理方法の習得
講 師：長野 将人氏

(15) 書架整理ボランティア講座

実施日：令和4年2月16日（水）
場 所：島田図書館
定 員：10人
内 容：図書館の本の並べ方の習得
講 師：島田図書館職員

(16) 本の帯まつり

実施日：令和4年1月18日（火）～ 3月6日（日）
※募集は、6月15日（火）～12月28日（火）
場 所：島田図書館内
内 容：島田市の伝統行事である「帯まつり」になぞらえ、自作の「本の帯」を募集し、島田図書館内で「本の帯まつり」と称して展示する。

(17) 川根小学校・川根図書館合同開催「ビブリオバトル in 川根小！」

実施日：11月5日（金）
参加者：60人

ひと・ほんの庭にこっと、ながふじ図書館（磐田市）視察報告

実施日：令和3年10月20日（水）

参加者：中谷稔会長、山本敬子副会長、孕石恭子委員、
大石絵美委員、大井喜子委員、大朋和裕委員、
渡邊富士雄委員、事務局5名

1 視察先の概要

(1) ひと・ほんの庭にこっと

ひと・ほんの庭にこっとは、旧磐田市、磐田郡竜洋町、福田町、豊田町、豊岡村が合併したことにより市内に5つの図書館があったため、それぞれの図書館に特色を持たせようとするなかで、平成30年に旧豊田図書館をリニューアルし、子どもに特化した、子育て支援機能と図書館機能を併せ持つ施設として開館した。親が本を借りに来たついでに子育て相談をしたり、遊具で遊びに来た子供がついでに本を借りることができる。

教育委員会設置ではなく、市長部局（所管はこども部）が設置した施設である。

- ・職員 14人（保健師、保育士、司書、通訳など）
- ・利用者数 146,729人（令和2年度）
- ・蔵書数 112,348点（令和2年度末）
うち、開架児童書約3万冊、開架一般書約2万冊、閉架約5万冊

(2) ながふじ図書館

ながふじ図書館は、ながふじ学府一体校（豊田中学校、豊田北部小学校、豊田東小学校）の学校図書館であるが、公共図書館の本も所蔵しており地域に開放している。令和3年4月に開館した。雑誌75誌や漫画本などを置くなど児童生徒にとって親しみやすい図書館であるとともに、地域と学校をつなげる場を目指している。

- ・職員 司書3人（うち1名は他の学校図書館と兼任）
- ・利用者数 公共図書館 6,864人、学校図書館 8,853人（令和3年4月～9月）
- ・蔵書数 公共図書館 7,116点、学校図書館 16,229点（令和3年4月初）

2 事前質問及び回答について

資料3-2のとおり

3 視察会場での質疑応答

(1) ひと・ほんの庭にこっと

質 問 子育て支援に特化した図書館となったきっかけを教えてください。また、地域の方の反対意見はなかったですか。

回 答 旧磐田市、磐田郡竜洋町、福田町、豊田町、豊岡村が合併したことで市内に5つの図書館があったため、それぞれを特色がある図書館にしたいというなかで、もともと豊田図書館は子どもの本の蔵書数が多かったことから子ども図書館とし

たいという案が出ました。また、ながふじ図書館を近くにつくる計画もあったため、子どもの中でも特に未就学児をメインとした子育て支援施設とすることになりました。

地域の住民の方からは、特に反対意見はありませんでした。

質 問 就労支援もされているということですが、ハローワークの職員が来ているのでしょうか。

回 答 週2回ハローワークの職員に来てもらっています。以前は予約不要だったのですが、今はコロナの影響で予約制となっています。ハローワークは子どもを連れて行きにくいいため、ハローワークからも母親の就労支援をしたいとの話があり、来てもらっています。

質 問 おはなし会は職員とボランティアのどちらが行っていますか。

回 答 職員が実施しています。保健師、保育士、司書と様々な職員がいる良さを活かすため、また子育て相談等につなげるきっかけづくりのため、ボランティアさんには入ってもらっていません。

質 問 縦割りでない分野や部署を横断した運営していく上で、良かった点やご苦勞を教えてください。

回 答 当時の市長の強い思いがあり、子育て支援と図書館の複合施設となりましたが、最初に作り上げるまでは苦勞が多かったです。良い点は図書館でも子育て支援施設でもなく中間であるところ、苦勞している点も図書館でも子育て支援施設でもなく中間であるところだと思っています。利用者の方にとっては、どんなことも聞ける便利な施設ではないかと思います。

質 問 配架は司書の職員がやるなど、役割分担はどのようになっていますか。

回 答 保健師、保育士、司書と様々な職種の職員がいますが、職種により役割分担はせず、全員が配架、選書、相談など全部の仕事をやります。

質 問 職員の所属は図書館ですか、それとも子育て部局ですか。

回 答 ここは、子育て支援施設で教育委員会の施設ではなく市長部局のこども部の施設で、職員もこども部の職員です。また条例上は図書館ではない施設です。ですが、ほかの図書館と同じシステムを使って連携し、他市町の図書館と相互貸借なども行っています。

質 問 YA向けのコーナーや学習席はありますか。中高生世代の利用は多いですか。

回 答 YA向けのコーナーや学習席も他の図書館と同様にあります。ながふじ図書館が近くにありますが、中高生の利用者数は豊田図書館時代からあまり変わらない印象です。

質 問 学生さん作成の防災の展示がありましたが、だれでも展示できるのですか。

回 答 公共施設や団体であれば使ってもらっています。個人の方はお断りしています。お子さんが触れても良いものに限っています。

質 問 ブックスタートはこちらでやっているのですか。

回 答 元は図書館が主管でやっていましたが、にこつとができたときから、ここでやっています。他の図書館の職員にも応援に来てもらっています。本の受取はほかの図書館でも可能です。

質 問 一般書と児童書の購入割合はどのくらいか。

回 答 予算は児童書が6割、一般書4割です。ただし一般書の中にも子育て関係の本も多いです。

質 問 資料の購入費の予算は教育費ではなく、子育て支援の予算ですか。

回 答 はい、子育て支援の予算です。

質 問 指定管理などの民間委託の話はでてきませんか。

回 答 今のところ民間委託の予定はありませんが、定期的に話には出てきます。

質 問 市内の図書館を回る配送のメールカーはありますか。学校への団体貸し出しにもメールカーを使っていますか。

回 答 市内6館を毎日まわっています。にこつとでは団体貸出はしていませんが、他の図書館では、中心部ではない学校には配送車で団体貸し出しの本を送っているようです。運送会社に業務委託しています。

質 問 天体施設があるようですが、どのように活用されていますか。

回 答 毎週土曜に天気の良い時にしか開催できませんが、天体観測指導員さんに講師をしてもらい、天体観測会をしています。

質 問 書架が低くて理想の高さだと思ったのですが、設計にはどなたが関わったのですか。

回 答 設計というより絵本架は新規購入しましたが、児童書架は高い書架を上下半分に分けて、下の部分を児童書架にして、上の部分を一般書架として再利用しています。

(2)ながふじ図書館

質 問 システムが学校図書館と公共図書館で別々とのことですが、職員は、学校図書館のシステムの処理もできるようになっているのでしょうか。

回 答 学校と公共図書館でカウンターが別になっています。学校のシステムもながふじ図書館の職員が処理する権限をもらっています。児童・生徒は学校図書館の本、公共図書館の本それぞれ2冊まで借りられるようになっています。昼休みは中学校と小学校と図書委員が2名ずつ来て、学校図書館の貸出・配架等をしてきています。

質 問 雑誌の所蔵が学校の規模に対してとても多いと思いますが、利用はどうか。
回 答 開館後して半年なのでまだつかめないところが多いですが、印象としては貸し出しが多いように感じています。

質 問 児童・生徒の保護者の利用はありますか。
回 答 通級の保護者さんが待機する場所としてりようしてもらっています。また、学童もあるため、学童の送迎時に図書館に親子で寄ってくれる方もいます。

質 問 中学校と小学校の一体校の図書館として、中学校と小学校の連携を図書館で行っていることはありますか。
回 答 中学生から小学生におすすめ本の紹介をし、小学生がその返事を書いてもらうという取組みを継続的に行っています。中学生の本の利用が少ないことが全国的な課題ですが、漫画を置いていることもあり、昼休みなどの利用が多くなっている印象です。

質 問 近くににこつとがあるが、ここにも図書館をつくったのは、地元からの要望があったのですか。
回 答 地元からの要望というより、当時の市長が、小中一体校で地域に開かれた学校（学府）の核として地域に開かれた図書館をつくりたいという思いがあったためです。

質 問 思春期の子ども様子を見守るために学校の先生方と連携していることはありますか。
回 答 不登校、保健室登校の子ども居場所になっていることがあります。そういった意味で子どもの見守りができているのではと感じます。

質 問 地域に開放された図書館として、地域に対して講座等を行っていますか。
回 答 今のところコロナの影響もありできていません。

質 問 さきほどお話があった中学生のおすすめ本はどのように行っているのですか。
回 答 中学校の図書委員におすすめ本の紹介文を書いてもらい、小学生の読書のきっかけづくりをしています。ポストがあり、小学生から中学生にお返事を書けるようになっています。紹介者の名前も書いてあるので、やりとりができるようになっています。

※その他、ながふじ図書館から川根図書館へ学校との連携方法などの質問を受けました。

- ① 職員数は何人か、またそのうち図書館担当の職員と支援センター担当の職員は何人か教えてください。
- ※島田図書館 職員 10 人、会計年度任用職員 20 人、こども館職員 7 人
- にこっと 職員 4 人（うち保健師 2 人）**
会計年度任用職員 9 人（うち司書 3 人、保健師 2 人、通訳 1 人）
- ② 利用者数はどのくらいか、またそのうち子どもはどのくらいか教えてください。
- ※島田図書館 利用者数 100,727 人、うち 12 歳以下利用者 15,105 人
(令和 2 年度 個人貸出)
- にこっと 貸出利用者数（延べ）49,189 人、うち 12 歳以下利用者 15,327 人**
- ③ 蔵書数はどのくらいか、また児童書の割合を教えてください。
- ※島田図書館 蔵書数 251,718 点のうち、児童書 58,854 点（24%）
(令和 2 年度末)
- にこっと 蔵書数 112,348 点のうち、児童書 50,994 点（45%）**
- ④ 豊田図書館時代と変わった点、変わらない点を教えてください。
- 図書館から子育て支援施設に変更し、一般書の閉架蔵書数が減った。**
保育士・保健師を配置し、子育て相談や支援体制を整備した。
図書館との連携は変わらないが、市長部局になった。
- ⑤ にこっとになってから客層に変化はありましたか。
- 乳幼児やその親（30 歳代）の来館や利用が増えた。**
- ⑥ 図書館機能と支援センター機能が連携したイベントには、どのようなものがありますか。
- すべての講座等に本を活かしていることが特徴**
心理士講座、栄養士講座、助産師講座など
- ⑦ 他の子育て支援センターとの連携はどのようにしていますか。
- 各支援センターとお便り等の情報共有をしている。**
相談の内容から必要性に応じ、子育て支援員や地区担当保健師に情報共有をしている。
- ⑧ 特集コーナーや展示等の企画は行っていますか。
- 10 カ所の（本）企画展示コーナーは、月 1 回テーマに沿った本を配置している。**
くつろぎの間の（大）展示コーナーは各課へ募集をかけ、パネル展やポ

スターコンクールなどの展示を行っている。

⑨ 障害を持ったお子さんを対象とした事業やイベント等を行っていますか。

対象者を限定していないが、月1回手話講座を開催している。

障害者施設利用者の団体利用、障がい者アートの展示、にこっとならから障がい者就労施設への情報提供、日常生活訓練用としての場の提供（パン販売）

ながふじ図書館への事前質問（回答）

- ① 令和3年4月に開館してからの来館者数、利用者数、貸出点数を教えてください。
※川根図書館 来館者数 15,516人、利用者数 9,206人、貸出点数 25,622点
(令和2年度：個人貸出)
令和3年4月～9月 入館者 21,064人
公共図書館分 利用者 6,864人 貸出 11,217点
学校図書館分 利用者 8,853人 貸出 10,177点
- ② 児童・生徒の利用者数と学校図書と市立図書館図書の貸出数を教えてください。
学校図書館分 利用者 8,853人 貸出 10,177点
公共図書館分の児童・生徒に限った貸出数は不明。(一般利用との合算で統計)
※公共図書館の7～15歳の利用者 6,239人
- ③ 市立図書館、学校図書館のそれぞれの蔵書数と目標数を教えてください。
※川根図書館 市立図書館の蔵書 4.4万冊、学校図書館 5千冊
- | R3. 3末現在 | 目標 |
|----------------|---------|
| 公共図書館分 7,116冊 | 14,000冊 |
| 学校図書館分 16,229冊 | 21,000冊 |
- ④ 図書資料の選書は、学校と市立図書館ではそれぞれ別に選書していますか。
※川根図書館では、学校図書は学校図書課館支援員、市立図書館分は図書館員が選書
昨年度までは学校図書分を学校の司書リーダー、公共図書館分を司書が選書。
今年度の身分は同じながふじ図書館司書だが、それぞれ別々に担当し選書。
- ⑤ 図書資料の購入は、学校と市立図書館でそれぞれ別に購入していますか。
※川根図書館では、学校図書は予算、市立図書館分は図書館課予算で購入し、発注も別途
学校図書は学校予算、公共図書は図書館予算で購入
- ⑥ 図書資料の装備は、学校と市立図書館でそれぞれ別に装備していますか。
※川根図書館では、学校図書は学校独自システムに装備を行い登録。市立図書館分は図書館職員が装備後に市立図書館システムに登録
(学校図書)
学校用のシステムを使用、ブッカーや背ラベル等の装備は購入書店で行い、一部は職員が実施。登録やバーコード貼付は職員が実施。
(公共図書)
公共図書館分は他の公共図書館と同一システムで、大半はTRCで装備、

雑誌や一部図書は自館で行う。

- ⑦ 学校図書館と市立図書館の図書管理システムは、同じですか、別々ですか。別々の場合、統一する予定はありますか。

別々に管理している。統一の予定は未定。

- ⑧ 学校敷地内や図書館内に一般の利用者と生徒、児童の両方が出入りしますが、防犯対策はどのようにしていますか。

※川根図書館の場合入口が一般用と学校専用口があり、学校専用口は児童以外は出入りができない。(開閉をスイッチにより図書館職員が行う)

昼休みや授業で使用する時間以外は学校専用口を閉鎖し(児童も放課後などは一般用から出入りする)、一般利用者が校舎に入れないようにしている。

地域に開かれた学校とのコンセプトから図書館の入口は共用となっている。

- ⑨ 学校との連携事業はどのようなものがあるのか教えてください。

(学校主催)

- ・ 職業体験
- ・ おすすめ本の紹介(中学生から小学生へ紹介し、小学生がお返事を書く)

(図書館主催)

- ・ 読書週間のおすすめ本の紹介展示

- ⑩ 司書教諭、学校司書と図書館司書の連絡会は開催していますか。

年数回開催

- ⑪ 学校図書室と市立図書館が併設されていることによるメリット、デメリットがあれば教えてください。

(メリット)

- ・ 子どもたちにとっては、これまでの学校図書館にはない雑誌などの幅広いジャンルの図書に触れ合えるチャンスが増える。
- ・ 図書館を介して地域の大人が学校を身近に感じることができる。

(デメリット)

- ・ 授業で使用している際に、一般の利用者が来館する場合がある。
- ・ 校内の安全のため駐車場が校門の外にあるため、図書館までの距離があり、一般利用者にとっては他の図書館に比べ利用しにくい。

(1) ひと・ほんの庭にこっと

意見・感想 1

環境が実に羨ましい図書館でした。広くて無料の駐車場をはじめ、館内の広さ書架の活用方法、絵本の表紙がたくさん出された本の配置。選書することが楽しくなってしまうような印象でした。子育て中であったら、是非行きたいと思う図書館です。

磐田市は子育て支援が充実していることを以前から感じていましたが、図書館と子育て支援をコラボ、所属が市長部局というのは、全国でも稀ではないかと感じました。

おはなし会は、スタッフの方が実施しているとの事でしたが、確かにお話し会に参加している親子の様子から子育て支援に繋げていくことができるのはとても頷ける事だと思います。長年お話し会をしていると、気になる親子さんに出会うことがありますが、島田市では支援に繋げる手立てがなく羨ましく感じました。

また、職員の少なさにも驚きました。山羊2匹の世話も含め正規の職員4人の方の負担がかなりあるのではないかと感じてしまいました。

講座も幅広く豊かで、垣根が無く開催され、おまけに天体観測も毎週とのこと、羨ましい限りです。従来の設備を上手く活用されていたことも印象的でした。

意見・感想 2

「ひと・ほんの庭 にこっと」は図書館機能と子育て支援機能を併せ持っていて、子育てに携わる親と子供達が利用しやすい環境が整っているのは素晴らしいと思います。

① 各エリアの配置が良い事。

⇨出入り口から「いこいのま」「あそびのま」「こどものま」と広い共用スペース、子供本の配架と遊び場所があり、少し奥まった所に「みんなのま」一般書が纏められている。

このため子育てに関係の無い利用者も、子供用の本を目にする機会が得られるのが良いです。また飲食可能で新聞が置かれている「くつろぎのま」は本を置いている場所から独立している事、子供本の配下棚の高さが低く小さい子の目線に合っている事も好感が持てました。

② 「いこいのま」に入った左横に、リユース本のコーナーがあり、利用者が読み終わって不要になった本が交換できるように有効活用されていた事。(島田図書館にもあれば良いなと思いました。)

③ 自主事業(講座、天体観測会)の実施。

特にタカハシ屈折式天体望遠鏡を使用した天体観測会はとても羨ましく感じました。

子供の頃から身近に天体観測を体験できる環境がある事で、自然科学に対する興味が増します。

意見・感想 3

こどもの本に特化した図書館としておそらく県下一だと思う。蔵書数、子供の視線に合わせた低い書架の徹底、考えられた構成、動線、採光、広い駐車場。職員として常駐する保育士、保健師。子育て支援機能と図書館機能を併せ持つこの施設の今後を注視していきたい。また、この図書館の所管が教育委員会ではなく、市長部局であることは、驚きだった。私の持論として、公立図書館は教育委員会の責任において運営されるべき、との考えは全く揺らぐことのないものではあるが、この図書館の在り様は納得できる。この運営形態を含め、この図書館は広く議論され注目されていくと思う。

意見・感想4

- ① 子育て支援付の図書館（今までの図書館という固定観念を覆す感じですが）
子育て支援、講座、相談、就労支援、読書推進等来館者が幅広く活用できる所
- ② 子育て中のお母さんや子供たちにとっていつでも、すぐお役に立てる所
- ③ 絵本、遊び場、大人向けの本が平行していて便利な所
- ④ 絵本棚は子供の目に入りやすく、手に取りやすい高さでした。
- ⑤ 「くつろぎの間」 我が家の防災対策の展示がしてあり、たくさんの方々が見学にいらっしゃるでしょう。
島田図書館にも「真似」できるものがありますかね。

意見・感想5

にこっとの視察では、2つの良い点を見つけることができた。1つ目は、空間や雰囲気の心地よさである。本棚が子供用に低く設定してあり、奥まで見渡せるところは安心感を感じた。また、絨毯が敷いてあり、靴音が聞こえず静かに移動できる所は落ち着きを感じた。子どものために、遊ぶスペースや外で活動できるスペースもあり、子どもにとってもストレスを感じさせないのではないかと。2つ目は、専門家との連携である。保育士や保健師、通訳などのスタッフが配置され、ちょっとしたことを相談することができるのがよいと思った。多くの情報をすぐに手に入れることができる時代であるが、人と人とのやり取りの温かさは、育児の不安や心配を取り除いてくれると思う。子にも親にも優しい施設であると感じた。

意見・感想6

全体の印象としては児童書フロア優先の図書館だと感じました。実際に一般書のエリアは1/3程度で、広い児童スペースには、低い書架に面出しがされた絵本などが配置され、保護者とちいさな子供と一緒に選べる空間が広がっていました。施設のコンセプトが子育て世代にターゲットを絞り、子育て向けの事業が多く行われていて職員も保健師、幼児教育専門官、保育士、図書館司書などが同じ所属（子ども部）で同市の他の図書館（教育部）との所属が違うことで子育てに特化した運営ができ来ているのだと思いました。また、当館の一般書の蔵書不足やレファレンスなど機能は、車で10分程度の中央図書館で対応してもらうなど通常の図書館との違いを感じました。しかし、子育て世代の方が多く集まるなど同規模の図書館と比べると集客も貸出数も多いため、子ども読書推進をさせるモデル館となるのではないかと感じました。なお、にこっとは図書館条例上の図書館でないことが、このような特化した図書館と運用することができたかもしれません。

意見・感想7

ひと・ほんの庭「にこっと」は、とにかく駐車場が広くて周りに緑もあり、その事だけでも施設を利用しやすい環境が整っている。児童コーナーは1Fにあって施設内の目線が低く設定されており、児童書架も低く、それでいて空間も凄く広く感じられて、ある意味理想的な児童施設との印象だった。子育て支援施設で市長部局に位置づけられており、教育委員会や図書館の組織に組み込まれていないので、上手く機能するかが不透明ではあるが、固定観念にとらわれないとい

う点では興味ある施設である。

意見・感想8

まずは、駐車場の広さにびっくりしました。ボール遊びなどのびのび遊べる芝生の広場があり、やぎの「あんこ」と「きなこ」がいて動物と触れ合うこともでき、館内には、おはなし会の会場や赤ちゃんを遊ばせるスペースもあり、飲食ができて自由に過ごせる場所があり、子供連れの利用者を初め、みなさんが楽しく一日過ごせそうなところでした。所蔵冊数は金谷図書館とかわらないのに貸出冊数が金谷図書館の倍ほどあることに納得しました。

次に驚いたことは、図書館法に基づかない図書館であり、教育部局ではないことと、司書や保育士、保健師、栄養士など多様な専門職の職員がいることでした。人事課的な身分のこと等の詳細はさておき、子供さんがいるご家庭の利用者にとっては、理想的な場所だと思いました。島田図書館でも図書館の域を超えて何かできないかと考え、すぐに取り組めないかもしれませんが、平日の昼間に高齢者の利用者が多いことから、保健師さんを派遣してもらい「血压測定やっています！」等の日を設ける（人の派遣が無理なら、血压計を借用して設置する）など、他課と連携した取り組みができたらいいなと思いました。

※「にこっと」は、そもそも「図書館ではない」ってことですね。

意見・感想9

職員の皆さんは、他とは違う形態の図書館で働くことに納得されているのか、異動はあるのか、市長が変わり、市政方針が変わることで、「にこっと」の方々の働き方は変わっていくのか、気になりながらも聞けずにいました。

なぜ、金谷図書館と同じ位の規模であるのに、そんなに利用が多いのか、その秘訣を知りたいと思っていましたが、ブックスタートの会場になっていて、市内すべての乳児と保護者が集うのであれば、利用が多いのも当たり前だと納得しました。

おはなし会の会場の他に、赤ちゃんがのびのび過ごせるスペースがあり、飲食ができるコーナーもある。外には芝生広場もあり、可愛いヤギとも触れ合える。駐車場のスペースにも余裕がある。こんな施設が市内にあったら、子育て中の保護者はもれなく足を運ぶことと思います。うらやましいです。

島田市立図書館は、図書館法に則った図書館であるため、そのまま真似できる事業ばかりではないけれど、栄養士、助産師、保健師、保育士などを招いて、相談に乗ってもらえる日を設定するのも良いのでは…と思いました。でも、その前に駐車場問題を解消しなくてはならないのかもしれない。

(2) ながふじ図書館

意見・感想1

島田市立の学校図書館は図書館支援員が2校を掛け持ちしているため毎日開いているわけではない中、地域の図書館と併設することで、司書の常時在留は羨ましく思います。

学校図書館としての活用が強いことを感じましたが、これから学校職員との連携、情報共有が課題なのかな・・・とも感じました。これからどのように変化していくか？楽しみでもあります。

意見・感想2

「ながふじ図書館」は小中一貫校の学校図書室に一般図書館機能を持たせて、子供から大人まで楽しめるようにして地域に開かれた場所にするという構想は理解できました。

① 小中一貫校に在籍する生徒さんが、学校図書と一般向け図書の両方を借りられる事。

⇒ 学校図書、一般図書の区別なく様々な本に接する機会が得られるのは、大きな利点です。

② 雑誌のアイテム数が多い事。

⇒ 子供のお小遣いだけでは購入できない雑誌を読む事が出来ます。

③ 館内閲覧のみだが漫画本が配置されていた事。

⇒ 大人、子供に限らず、漫画本で読んでおいた方が良いものは沢山あると思っています。

意見・感想3

学校図書館と公立図書館の一体化運営、基本は川根図書館と共通するものであるもので、川根との比較でこの図書館を見てみた。川根は学校図書館、公立図書館の境界が壁で仕切られているのに対して、ながふじは曖昧な形。蔵書数を比較すれば、川根小学校の児童数166名に対して8000冊、一方ながふじは、豊田東小380名、豊田中440名合計820名に対して蔵書目標2万冊、公立図書館については、川根の4万5000冊に対して、ながふじの5000冊。この数字に見られるように、ながふじの一般に対しての対応の中途半端さが、駐車場や入館時のはきかえを含め目立ってしまう。5000という数字は公立図書館の分館としては機能しない、図書コーナーのレベルと考えられる。開館してまだ半年、これから様々な手直しがなされると思う。

意見・感想4

① 図書館貸し出しを小・中学校の図書委員が手伝えることは良いですね。

② 地域に開かれた学校として公立図書館と学校図書館を同じにしたことはお互いに理解しやすいと思います。

③ 「子供達におすすめの本を紹介してしおりをもらおう」

ここの図書館は中学生が小学生に本の紹介をして返事を提示する。いい「つながり」ができますね。

意見・感想5

ながふじ図書館の視察では、川根図書館との比較を通して、川根図書館のよさや工夫が見えてきた。私は、学校と図書館が合体していることはメリットしかないと考える。豊富なジャンルの、ぴかぴかの新しい本、地域の人とのつながりなどの利点もあるが、私が一番いいと考えるのは、

川根図書館の職員や司書の方が学校教育に積極的に参加してくださっていることである。授業や朝の読み聞かせへの参加、スタンプラリーやビブリオバトルなどの共同開催、生活科での町探検の場所の提供など、川根図書館の方が川根小学校の教育目標や方針を理解してくださり、共に子供たちを育てていただいている。たくさんの方が子供たちに関わることは、教育という面でとても大切なことだと思う。

今後の図書館の在り方は、ただ図書館がある施設ではなく、プラスαが必要だと思う。図書＋子育て支援、図書＋学校、図書＋本屋、図書＋IT等、地域の人々が様々な図書館から選択できるようになってほしい。また何かの特化することで魅力的な、存在感がある図書館になると思う。

意見・感想6

磐田市は、地域を学府と位置づけ小中一体校を建設するにあたり地域に開かれた図書館としてながふじ図書館がモデル校として創られた。管理・運営については、公立図書館の職員が学校図書館も兼ねているなど合理性を感じましたが、実際は小中一貫ではなく一体（同じ建物なる）のため小学校、中学校とそれぞれに連携を図らなければならず、学校所属の学校図書館支援員がないことなど学校連携があまりうまくいってないと感じました。地域に開かれた図書館としては、本の選書など児童生徒向けで、利用者もほとんどが児童生徒で地域の方の利用は少なく、図書館行事も学校に向けだけなど開館からまだ1年で試行錯誤をしているようです。地域の利用については開館日が月曜から金曜までということや開館時間に問題があるのではないかと感じました。しかし、川根図書館も同じですが児童生徒にとっては、休み時間に図書館が利用できることや、年齢を問わずに蔵書している公立図書館の本があることは、子ども達により多く本に触れ合う機会を与え子供の将来に大変プラスになると思います。島田市は今後小中一貫校などの構想もあるため、ながふじ図書館が今後どのように地域に開かれた図書館としてどのような施策を取るのか注目したいと思っています。

意見・感想7

ながふじ図書館は小中一体校に図書館が複合している施設で、完成して半年余りでまだ複合施設として試行錯誤の段階という印象だった。小中との連携という点では、まだまだ課題は多いけれど、中学生の生徒たちを図書館から見るができるのはいいと思った。もう一つの特徴は雑誌が70種類以上あることだが、まだ、この雑誌の所蔵を生かし切れていない印象を持った。

意見・感想8

一般の方も利用できるということですが、図書館への入り口が奥まったところにあり、利用し慣れている方や最初から目的を持って来館される方はいいでしょうが、市民に広く利用していただくには、工夫が必要だと感じました。

その反面、「ながふじ学附」の子供たちにとっては、読み物ばかりでなく、雑誌もあり、調べものをするにも資料がたくさんあり、恵まれた環境だと思いました。図書館を介して、小・中間でいろいろな交流ができそうで、今後のながふじ図書館の取組みが楽しみだと思いました。

意見・感想9

近くに「にこっと」もあり中央図書館もあるのに、この場所に無理やり公立図書館を持ってくる必要があったのだろうかと思いました。

バリアフリーの建物であるにもかかわらず、靴を履き替え、スリッパを共用することは感染症対策からしても少し不衛生であるし、やはり来館の対象は、一般の利用者ではなく、校内から直接移動できる児童・生徒であるのだと感じました。

川根図書館同様、併設されている学校の子供たちにとっては、蔵書数も増え、調べ学習をするにはもってこいの環境が整ったのであるから、何よりだと思います。数年後の「ながふじ図書館」を再度訪れてみたいです。

(1) ひと・ほんの庭にこっと

意見・感想 10

コロナ禍の大変厳しい状況の中、今年度の視察研修が無事に行われたことを大変嬉しく思います。日程調整や相手方との連絡や交渉など、丁寧できめ細かな計画をたててくださった事務局の方々の御尽力に感謝申し上げます。

今回は近隣の磐田市の中でも、大変特色のある図書館を視察することができました。

最初に視察した「ひと・ほんの庭 にこっと」は図書館から子育て支援施設に変更することによって乳幼児やその親（30歳代）の来館者や利用が増えたということで、行政リーダーの明確なビジョンと目的が実現されつつあることがわかりました。教育委員会の所管ではなく、市長部局が所管することによって、図書館課×子育て支援課のコラボが実現し子育て世代に優しい地域づくりが実現されていく予感を感じました。

縦割り行政のなかで、課や分野を横断して行政運営を進める難しさがあるということでしたが、これから地方自治が活性化していくには、このような市民生活のニーズを聴き取り合意形成を丁寧に図り、市全体の行政運営のバランスを考えることが求められるのだと思いました。

展開されている運営事業の内容では、子育て支援に関する講座が多岐にわたり回数も充実しており、そのすべての講座に本を活かしている点に魅力を感じました。講座を受講して終わりではなく、その講座を通じて子育て相談に発展したり書物を活用したりすることにつながっているということで、今盛んに言われているSDGsを達成するうえでも大切な考え方だと思いました。

また、施設の特徴でもある天体観測会がこれまでに16回開催され、198人の人たちが星の観察を楽しまれたことはうらやましい限りです。島田市の博物館に天体観測施設ができればきっときれいな星空を観ることができると感じました。

意見・感想 11

にこっとの、子どもの視点や感性に合わせた空間づくり、目線の低い本棚、たっぷりとした通路や余白スペースのある空間づくり、庭の遊具など、子育て支援施設として考え抜かれた空間は素晴らしかったが、「機能」についての視点だけで、「これは島田にない」、という話をしていても意味がないが、まち全体の中での図書館という場の機能と位置づけのランドデザインがきちんとつくられている部分が素晴らしいと感じた。

館長の話にあった「図書館がやると、どうしても図書館から出られない。（にこっとを）オープンの際は司書以外は全て新しいスタッフで構成した」という言葉が印象的だった。

図書館という機能、場に囚われず、まちに必要なリソースを柔軟な発想で新しく付随させていくことで、特色ある図書館を作り上げているところは、図書館のみならず公共施設の作り方として非常に参考になると感じた。

行政内の課という縦割りを超えて作られているところも、空間づくりや本の見せ方、司書と一体となり保健師や保育士と運営している部分なども素晴らしいと感じた。にこっとの説明をくださった館長の方は、行政内の縦割りを超えながら、図書館機能を上手に地域に活かすという視点で楽しみながら運営を行っているように見えた。司書、保育士、保健師という違う職種の人達が気持ちよく働くことができるのは関わる人の姿勢と資質が大きいのではないかと感じた。

自分の経験からも、子育てに悩みを持つ母親は悩みはあっても市の子育て相談にはなかなか足を運びづらい現状がある。だが、図書館には誰でも行くことができる。行政側も図書館というフラットな、誰にでもひらいた場から悩みを持つ市民と出会っていける形は非常に有意義であると感じた。

意見・感想 12

にこつとを視察して、驚いた点がいくつかありました。

1つ目は施設の広さや駐車場の大きさです。あれだけ駐車場が広いと駐車場代も気にせず、長く滞在していただだけ、イベントも開催しやすいと思いました(コロナの影響は別にありますが)。書架の低さも、施設の広さがあるから実現できることだと思いました。とてもうらやましく感じました。

2つ目は、所管が教育委員会ではなく、市長部局(こども部)であることです。子育て支援施設と図書館の間であることが良い点でもあり、苦勞する点でもあると館長が説明してくれましたが、目からうろこでした。

施設や駐車場の広さや所管の違いは島田図書館で真似することはできませんが、縦割り行政のなかでも今よりも他課と共同してできることがあるのでは、と感じました。この視察を通じて視野が少し広がったように思います。

(2) ながふじ図書館

意見・感想 10

次に訪問した「ながふじ図書館」は、ながふじ学府と呼ばれる中小一体校につくられた学校図書館で約 16,300 冊 (Cap21,000 冊) の本が小中学校エリアに配架されていました。小中一体の特色を活かし、本を通じて小学校と中学校が交流する活動(本の紹介・返事を書く)が行われているのは、とても良いことだと思いました。また、中学生がみんなのエリアに配架されている本(約 7,100 冊)にふれることによって、さらに読書の幅が広がることも大変素晴らしいことだと思いました。願わくば、その意欲を継続させるためにも、土日の休館日のうちどちらか1日を開館することができればと思いました。そうすることによって、より地域と子どもたちのつながりが生み出されていくきっかけになると考えました。

今回は半日の研修視察で、バスに乗っている時間が短くその分じっくり見聞、視察する時間を持つことができました。昔のお菓子の「アーモンドグリコ」のキャッチコピーではありませんが、「ひと粒で二度おいしい」視察になりました。ありがとうございました。

意見・感想 11

ながふじ図書館も、一般書架の貸し出しの仕組などについてはオープン間もないということでまだまだ改善の余地があるように感じたが、にこっとと同じく、学校という場が、地域にひらき、連携していくというきっかけの場として図書館を機能させていきたいという意思が感じられ今後に期待したいと思った。

図書館という場としての機能や、本の数、管理システムなどのハードの部分は大きな予算がない限りなかなか新たにすることは難しい。だが、図書館という場を活用しながら、子育てでも地域福祉でもどんな分野でも良いと思うが、地域にひらき、本を通じて人が出会い、困っている市民が1人でも救われていくようなソフト的な機能は、視察した2施設のようにまだまだできることはたくさんあるのではないかと感じた。

図書館がまだまだ様々な可能性を秘めている場だということを再認識できた視察となった。良い機会をいただきありがとうございました。

意見・感想 12

ながふじ図書館と川根図書館はどちらも学校に併設された図書館ですが、市立図書館の職員と学校図書館支援員の区別がないことが違う点でした。職員全員が市立図書館の本も学校図書館の本も貸出や選書ができることは、職員の身分や権限で問題点もあるのかもしれませんが、2つの施設が併設されていることを活かしていると感じました。